

キビタキ



キビタキは綺麗な小鳥です。黄色を装いにあしらう鳥はいろいろいますが、黄色と黒とのコントラストと配色が実に見事であります。木の芽が芽吹く頃にしばしば、お目にかかることができます。夏鳥として北海道で繁殖しておりますが、緑が深まりますと見えにくくなります。これはキビタキのみに限ったことではありません。

学名にも英名にもナルシスのスペルがあります。命名者達も美しいと認知しております。ホンデュラスやコスタリカの中米の派手な装いの小鳥に引けを取らない北海道を代表する美鳥であります。巣箱を使ってくれるらしいので、この冬にかけた巣箱がこの鳥の役に立ってくれば、嬉しい限りであります。

2005年5月20日。この画像がわがデジカメのこれまでの最高傑作となりました。撮影場所は石狩市当別町、通称「フクロウの森」であります。前年秋に植えた幹線歩道のイチイ並木の活着具合を観察しておりますときに出会いました。シャッターを切った直後さらに私に向かって飛んできて、ほとんど顔の右側1センチほどの小枝に止まり逆に観察されてしまいました。あまりの近さに身動きも出来ず、ましてカメラを向けるなどめっそうもない感じでした。ただ、ただ、美形を凝視させていただきました。

小鳥たちは長くは停止してくれません。一瞬の出会いでしたが、一生消えない映像として瞼にから心にひびき残像が刻まれました。

この鳥には去年の東大富良野演習林、一昨年のもりも海岸防砂林植樹会の時にもよいアングルで出会いましたが、デジカメを所有する以前でした。

イチイ並木は90%ちかく活着していました。とっつき辺りは率が悪かったのですが、奥に向かうにつれて根付いている比率が高くなりました。持ち込んだ時の状態から判断しますと、まずまずの成績です。毎年手入れして樹形を整えて美しい並木に仕立てたいと願うのであります。今年の札幌工科大学学生演習で枯損樹を補植しました。

2004年9月8日の18号台風による風倒木が林内に散見されましたが、これも学生達が腰ノコと鉋で出来る範囲で片付けてくれまして、すっきりしました。